

コスタリカの豆知識

コスタリカは中米の赤道近く（北緯 8～11 度）に位置し、四国と九州を合わせたくらいの大きさ（約 5 万平方キロ）の常夏の国です。首都はサンホセ（San Jose）

人口は約 450 万人（約 100 万人は元難民）で公用語はスペイン語。約 98% がスペイン系白人とその混血です。先住の純粋なインディオは病気で多くがなくなり、現在人口の 1% を切っています。中米は 1502 年にコロンブスによって発見されましたが、コスタリカは資源も労働力もないので注目されず、中米 5 カ国が 1821 年に独立したときにも、その情報がコスタリカに届いたのは 3 ヶ月以上経ってから。自治的で「何事も待ってみる」寛容な国民性はこんな歴史の中から紡ぎ出されたようです。コーヒーやバナナなど一次産品の輸出に依存する典型的な発展途上国でありながら、「環境保護先進国」。



ラテンアメリカで最も長い民主主義の伝統を持つ国であり、1882 年に死刑制度を廃止したコスタリカは、中央アメリカでは例外的に政治的安定が続き、経済状態も良好です。ただ、他国同様、犯罪率の高さには悩んでいます。

1949 年に軍隊放棄を憲法 12 条に規定し、その財源で教育と福祉を充実させました。コスタリカは数年前にインターネット普及率が世界一位でした。「軍隊を持たずに他国から攻めてこられたらどうするか？」と質問すると「敵がいらないから攻めてこられない」「軍隊を持たない国は攻められない」と一般の市民がよどみなく答えます。「外交が何とかしてくれる」と答えた警察官もいました。軍隊を持たずに平和をつくる努力をすることは市民の意識に支えられているといえます。

今年の 6 月末に近隣国ホンジュラスで大統領が追放されるという内紛が起きましたが、コスタリカのアリアス大統領はホンジュラスの新旧の大統領を官邸に呼んで調停を図る試みをしました。コスタリカが“中米の火消し”といわれるゆえんです。

軍隊なしで自国を守るため、積極的な仲介外交のほかにも、様々な努力を続けています。

- ・ 政情不安で亡命してくる中南米エリート層を温かく迎える。
- ・ 米州人権裁判所（1979 年）や国連平和大学（1980 年）など国際機関を自国に設置する。
- ・ 国際的な連盟や協会において、執行部や事務局の中核的な位置を占める。
- ・ エコツーリズムに力を入れ、世界中の若者や環境保護団体の注目を浴びる。
- ・ 米国など先進国の富裕層に別荘地を提供する。

平和、人権、環境、民主主義で世界的な支持を得た国に攻め入るのはやさしくありません。